

2025年2月3日

住友電気工業株式会社

住友電工、初のオフサイト PPA 大阪製作所に導入

住友電気工業株式会社（本社：大阪府中央区、社長：井上 治、以下「当社」）は、当社敷地外に新設される発電所から再生可能エネルギーを活用する契約（オフサイト PPA）を関西電力株式会社（本社：大阪府北区、取締役代表執行役社長：森 望、以下「関西電力」）と本日締結しました。



本契約により、2025年5月以降、当社の大阪製作所には関西電力によって新設される太陽光発電所（パワーコンディショナー容量：4.55MW）の再生可能エネルギーが供給されることとなります。これにより、大阪製作所の年間電力使用量の約13%に相当する約8,400MWhが再生可能エネルギーに置き換わる見込みであり、年間約3,700トンに相当するCO₂排出量の削減が期待されています。

当社グループは、長期ビジョン「住友電工グループ2030ビジョン」^{*1}において「グリーンな地球と安心・快適な暮らし」を追求することを掲げ、2030年度までに2018年対比で温室効果ガスの排出量をスコープ1+2において30%、スコープ3において15%削減することを目標としています。また、「中期経営計画2025」^{*2}では「つなぐ・ささえる技術でグリーン社会の未来を拓く」ことを目指しており、この一環である「Go for Green 2025」活動^{*3}では温室効果ガス排出量の削減や、再生可能エネルギーの導入に取り組んでまいりました。

これまで当社は、生産性向上や新技術導入を通じた製造工程におけるCO₂排出量削減や、「グリーンな環境社会」の実現に向けた製品開発に注力してきました。このたび、再生可能エネルギーのさらなる活用を促進するため、オフサイト PPA 導入を決定いたしました。

当社グループは今後もグローバルに再生可能エネルギーの更なる導入を推進し、「グリーン社会」の実現に貢献していきます。

■ オフサイト PPA 概要

需要場所	当社 大阪製作所（大阪市此花区島屋 1-1-3）
小売電気事業者	関西電力
発電事業者	KDS 太陽光合同会社
パワーコンディショナー容量	4.55MW
年間想定発電量	約 8,400MWh
導入開始	2025 年 5 月
CO ₂ 削減効果	大阪製作所の年間電力使用量の約 13%に相当する年間約 3,700 トンに相当する CO ₂ 排出量の削減を見込む（2023 年 9 月～2024 年 8 月実績対比）

*1 長期ビジョン「住友電工グループ 2030 ビジョン」

<https://sumitomelectric.com/jp/company/segvision2030>

*2 「中期経営計画 2025」

<https://sumitomelectric.com/jp/company/segmid-term2025>

*3 「Go for Green 2025」活動

<https://sumitomelectric.com/jp/sustainability/csr/environment/goforgreen>

以 上